

教育学部

健康スポーツ科学プログラム

取得できる学位 ★学士（健康スポーツ科学）

■ プログラムの概要と人材育成のねらい

本プログラムは健康やスポーツ文化に関する諸問題にアプローチし、生涯学習社会における健康増進やスポーツライフの改善に寄与することのできる人材育成を目指すものである。

健康運動指導士、ACSM/HFS、日本体育協会が認定するアスレチックトレーナーや全米ストレングス&コンディショニング協会認定スペシャリストなどの資格に対応できる人材を育成する。

■ プログラムの到達目標（期待される学修成果）

| 1 | 知識・理解

- a) 人文・社会・自然科学全般にわたる知識。
- b) 文化・スポーツ・芸術に関する深い理解。
- c) 人間の心とからだの構造と機能に関する深い知識。

| 2 | 当該分野固有の能力

- a) 健康科学の知識と現代的健康観の理解。
- b) スポーツ科学の知識とスポーツ文化に関する理解。
- c) 幅広い対象者の健康やスポーツの実施に関わる方法と技術。
- d) 幅広い対象者の健康とスポーツに関わる実践的指導能力。

| 3 | 汎用的能力

- a) 国際的にも活躍できるコミュニケーション能力。
- b) 課題設定と達成のために協働する能力。
- c) 自己の考えを適切に説明できる能力。
- d) 文献やICTを活用して様々な情報を収集・整理する能力。
- e) 様々な情報を整理しそこから適切なロジックを見つける能力。

| 4 | 態度・姿勢

- a) 健常者や高齢者、障がい者と接する基本的態度。
- b) 常に新たな知識や技術を求める姿勢。
- c) 適切な課題を設定しそれを実現しようとする姿勢。
- d) 現代社会における高い倫理観と規範意識。

■ プログラムの履修要件

- 1) 幅広い分野にわたり、高校卒業レベルの学力を確実に修得していること。
- 2) 専門科目の学習に必要な、高校卒業レベルの基礎学力および基礎的実技能力を有すること。
- 3) 健康科学やスポーツ科学に関して強い熱意と関心を持ち、地域における健康増進やスポーツライフに関する指導者になることを目指していること。

■ カリキュラム立案と学修方法についての基本方針

- 1) 1年次より人文・社会・自然科学に関する基礎的知識と理解を深めるとともに国際的に活躍できるコミュニケーション能力を涵養する。
- 2) 2年次より理論および実技の専門科目を履修し当該分野固有の能力の基礎を高める。
- 3) 3年次よりヘルスプロモーションコースとスポーツ科学コースに分かれさらに専門的な理論と実践の体系を学習してインターンシップを経験し、4年次には卒業研究及び就業に向けての取り組みを行う。